

政務活動費（ 会 派 名 ）出張報告書

平成29年11月9日

氏 名 板谷 正	用 務 研修受講（公共施設のあり方と地方議員の役割）
期 間 平成29年11月 6日から 平成29年11月 7日まで	出張先 東京都豊島区池袋

調査事項・意見

講演題：「公共施設のあり方と地方議員の役割」

1. 公共経営とは
2. 指定管理者制度採用のあり方
3. 指定管理者制度における議会の役割
(条例、予算、モニタリング)
4. 指定管理者基本条例案
5. 公共施設総合管理計画
6. 公共施設の再編・多機能化を進める際の住民合意形成のあり方
7. 公共施設に関する議会・議員の役割

感想：平成15年の自治法（指定管理者制度）の施行後、本市も平成18年度より指定管理者制度を本格導入し現在まで、概ね2度の更新をおこなってきている。

この制度の目的としては、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応し、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図る目的ではじめられたのであるが、施設の特性や、未だに管理公社のような公共団体から手が離れてない施設も多くあり、制度開始から10年以上経過した今日においても、本来の目的に達していない施設が本市においてもおおくあり、この度の講演を聞き、今後それらの施設の管理を注視していくことの必要性を強く感じた。

また現在本市が取り組んでいる公共施設マネジメントも、他都市に比べ増して進む人口減少化社会においても、歳入、歳出をしっかりとみつめ進めていく必要性を感じた。